

## 第6学年2組 道徳学習指導案

平成21年10月8日(木) 第2校時  
指導者 教育センター所員 野中皇児

1. 主題 『心づかい』 【内容項目 4-(1) 規則尊重】
2. 資料 絵「□□小学校の子どもたち」(作 中原小学校 佐藤幸規先生)
3. 主題設定の理由

### ○ねらいとする価値について

高学年の内容項目の4-(1)は、「公德心をもって法やきまりを守り、自他の権利を大切にしながら義務を果たす」となっている。また、「法やきまりの意義を理解すること」は、新学習指導要領において、高学年の指導内容の重点として挙げられている。

人が集団や社会の中でよりよい生活をしていくために、きまり(ルールやマナー)を守るのみならず、その意義を理解することは極めて大切なことである。そのためには、自分が多くの人に支えられていることや、自分の行動が良くも悪くも他とのつながりの中で影響を及ぼしてしまうことを自覚させることが必要である。

### ○児童について

本学級の児童は、全体的に明るく楽しく学校生活を過ごしている。

ルールとマナーの違いについては、アンケート回答29人中17人が理解できている。また、ルールやマナーは29人全員が必要だと回答し、25人がその理由まできちんと述べていた。

このことから、「なぜきまりがあるのか」「なぜ守らなくてはならないのか」については、おおよそ「知っている」と言える。しかし、きまりがある場面に自分が直接関係すると、自分の都合のいいように考えてしまうことが少なくない。つまり、「分かっている」ところにまで高めていく必要がある。

### ○資料について

児童の実態から、きまりの必要性は誰もが感じていることが分かった。そのきまりを自分たちの普段の生活に照らし合わせて考えさせ、「頭では理解していることが、現実にはできていないことがある」という事実気付かせたい。

そこで、オリジナルの資料である1枚の絵をもとに、きまりについて考えさせたい。この絵には、学校生活の中で子どもたちの様子が、様々な角度で描かれている。きまりを守っていない子どももいれば、反対に守っている子どももいる。この絵の中にあるきまりとかかわりのある場面の子供たちを見つけさせ、「なぜそういう行為をするのか」、また、「そのときはどういう心情なのか」を問い、きまりについて深く考えさせたい。

### ○指導について

導入においては、事前にとっておいたアンケートの集計結果を提示し、きまりについての学級全体の認識の傾向などを伝える。また、きまりについて考えさせながら、誰にでも弱い心があることに気付かせ、ねらいとする価値への導入とする。

展開においては、学校生活の様子を描いた1枚の絵をもとに、自分たちに身近なきまりについて考えさせる。絵を見て、「きまり」に照らし合わせて考えたときに、「おかしい」、「これはいけない」など感じたところをチェックさせる作業学習を取り入れる。そして、その行為(行動)がなぜおかしいのか理由を発表させることで、まわりに対する影響について考えさせる。また、行為の基となっている心情を確かめることで、誰にでもある心の弱さやきまりを守る原動力について考えさせる。また、本時の学習を振り返っての感想を書かせる。

終末においては、1年生からの発表を聞かせる。上級生として、きまりについて下級生の手本となる立場であることにあらためて気付かせたい。

### 4. 本時のねらい

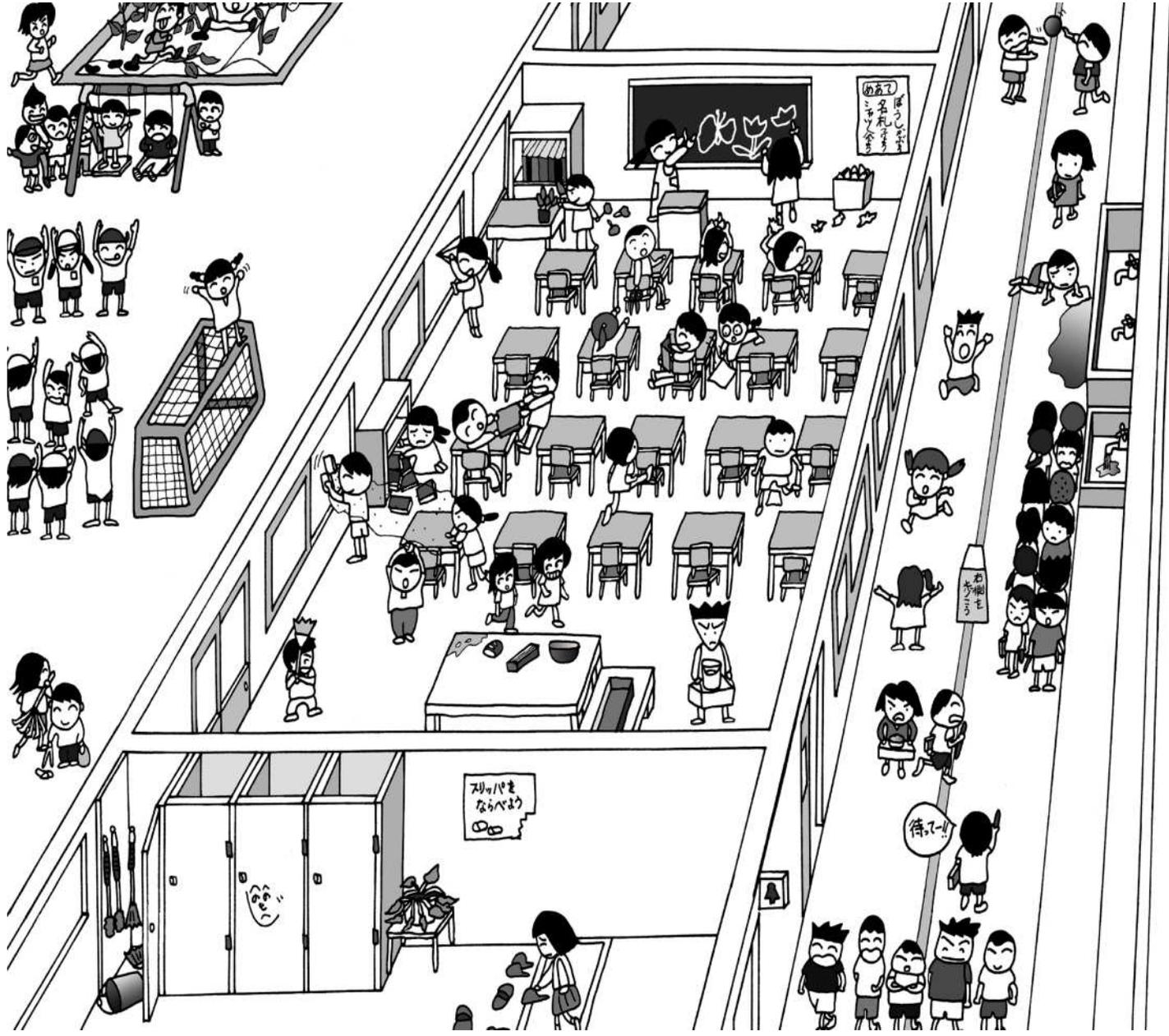
普段の学校生活の中できまりが守れていない現状やそのときの心の弱さに気付かせ、きまりの意義を考えながら守っていこうとする気持ちを育てる。

5. 展開

	学習活動	主な発問と予想される反応	指導上の留意点（★評価）
導入	1. 「きまり」について考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「きまり」という言葉を聞くと、どんなきまりが思い浮かびますか。</li> <li>・スピード違反をしない</li> <li>・物を盗まない</li> <li>○きまりはなぜあるのでしょうか。</li> <li>・大切だから</li> <li>・みんなが幸せに生活するため</li> <li>○きまりがないとどうなりますか。</li> <li>・みんなが自分勝手になる</li> <li>・めっちゃめちゃになる</li> <li>○それなのに、守らないのはどうしてなのでしょう。</li> <li>・つい、そうしてしまう。</li> <li>・誰も見ていないから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールやマナーを「きまり」という言葉で統一し、きまりという言葉から連想されるルールやマナーを発表させる。また、導入では、学校外や大人の世界でのきまりについて考えさせる。</li> <li>・きまりがなぜあるのか再確認をする。事前にとっておいたアンケートの集計結果を提示し、ルールやマナーについての学級全体の認識の傾向などを伝える。これらのことから、きまりは大切だという認識について再確認させる。</li> <li>・きまりを守れないことがあるという弱い心は、大人にも子どもにも、誰にでもあることをおさえて、ねらいとする価値への導入とする。</li> </ul>
展開	2. 学校や学級の中のきまりについて考える。  3. きまりについて一言感想を書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校や学級生活でのきまりにはどんなものがありますか？</li> <li>「廊下を走らない」</li> <li>「人をたたいたりしない」</li> <li>「給食のときは静かに食べる」</li> <li>「相手の目を見て話を聞く」</li> <li>○「これはおかしいなあ」とか「これはどうしてだろう」と思ったところに印をつけ、発表しましょう。</li> <li>・ゴールの上に乗ってはいけない</li> <li>・ほうきで野球をしてはいけない</li> <li>○なぜいけないとわかっているのに、やってしまうのでしょうか。</li> <li>・ついやってしまう</li> <li>・したいから</li> <li>○何が足りないのでしょうか。</li> <li>・きまりを守る気持ち</li> <li>・まわりへの気配り</li> <li>○絵の中で他にも気付いたことはありませんか。</li> <li>・ぞうきんでろうかをふいてる</li> <li>・ゴミひろいをしている</li> <li>・トイレのスリッパをならべている</li> <li>・本を片付けている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や学級の中にも、たくさんのきまりがあることに改めて気付かせる。小グループで話し合わせ、思い浮かぶたくさんのきまりを出させたい。ここでは、ルールとマナーについて、厳密には分けなくて考えさせる。</li> <li>・道徳カードを配り、「これはおかしい！」「どうして？」などと思ったところに印をつけさせて、それを発表させる。発表させる際は、なぜそれはおかしいのか、その行動が及ぼす周りへの影響についても述べさせる。</li> <li>★なぜ守れていないのか、どういう気持ちなのか、普段の自分の生活と照らし合わせ、道徳カードに書かせる。知っていても守れていない現状に気付かせる。また、それは、心から「分かって」いなければなかなか守れないということを子どもの意見から引き出したい。</li> <li>・きまりを守っている子どもにも着目させ、なぜその行いがよいのかを発表させる。よい行いに着目させ、補助発問することで、きまりを守ろうとする気持ちには、まわりへの気配り（心づかい）が大切だということに気付かせたい。</li> <li>★今日学習したことを基に、きまりについて考えたことの感想を書かせる。今後の自分について書けていれば賞賛する。</li> </ul>
終末	4. 1年生の発表を聴く。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生の発表を聴かせることで、周囲への心づかいを大切にしながらきまりを守っていこうとする気持ちを育みたい。</li> </ul>

道徳カード

6年2組



★なぜ、「いけない」ってわかっていることをやっつけてしまうことがあるんですか。

★今日の道徳の学習で、「きまり」について考えたことを書いてください。